

タイトル: 日本の技能実習制度に思うこと

氏名: グェソゴックカー

おなと人はじめまして。

私は、グェソゴックカーと申します。

これから、技能実習制度について発表させていただきます。

技能実習制度には、良い点と悪い点があります。

良い点は、先進国の労働環境で働けることです。新しい文化や新しい人に出会えます。そして、新しい知識や新しい技術を学べます。

日本には多くの外国の人が住んでいるので、様々な国の人と友達になり、そこからまた新たな発見や繋がりができます。資金を作り、ベトナムに帰ったら好きな仕事を立ち上げることもでき、さらには、実習生との繋がりを生かし、国際的な事業を展開できるかもしれません。

そのため、私たち若し人にとって日本に行くことはより自分を成長させることができ、それは素晴らしい経験になります。

悪い点は、ベトナムで事前に聞いていた仕

事の内容と日本に行つて実際に働く仕事の内容が違ふことです。私の周りでも実際に、仕事がなかつたりお給料が少なかつたりする会社もありました。

また、私たち外国人労働者の中には日本のルールを知らなひ人や分がらなひことがあつたりします。なぜダメなのか、単なる文化の違いなのか、分がりません。そのような時に、すぐに相談できる環境を作つてほしひです。組合と会社、実習生が定期的に連絡を取り合ひ、困つたことがあれば気軽に相談できるような関係づくりをしてほしひし、私も積極的に取り組む必要ががあります。

私が実際に経験し思つたことは、技能実習制度を利用して日本に来る場合、その仕事について注意深く調べる必要があります。まずは、自分が入社する会社がどんな会社なのか、何をしている会社なのか、知らなければいけません。たとえば、建設業なら、どうやって道路を作っているのか、など事前によく調べ

基本的な仕事のイメージを持つことも重要です。仕事内容や作業手順について大体のイメージを付けるために、外国人労働者向けに様々な分野のガイドブックや動画のようなものがあればいいと思います。

そして、会社は外国人労働者を慎重に受け入れ、私たちが日本に行くときに多くの問題が発生しないようにしなければなりません。私たちも実習生として日本に来られるようになるまで、たくさんのお金や時間がかかります。また、日本に来てからも様々な場面で書類や手続きが必要になります。日本に慣れるまで、文化の違いや言葉の違いでコミュニケーションが難しい時もあります。受け入れたら終わりではなく、技能実習生として日本で働いている間も組合や会社の協力がなければとても大変です。なので、会社側も外国人労働者を受け入れるという事はどういうことなのか詳しく知っておくことが重要です。

私の会社は、なにが困ったことがあれば会

社と組合が連絡を取り合い助けをくれます。

私は技能実習制度を利用して本郷工業に入社し、師匠にたくさん仕事を教えてもらいました。また、仕事だけでなく私生活においても、とても親切にしてもらいました。

恵まれた環境に居ることを有難く思います。そして、たくさん人ののおかげで自分自身がとても成長できたと思います。

ご清聴ありがとうございました。